

# 2016年12月期 決算説明会

～想いを世界に、GMOリサーチ～

**GMO** RESEARCH

STOCK CODE : 3695

代表取締役 細川 慎一  
取締役 澤田 裕介

- ① 2016年12月期決算概要
- ② 2017年事業戦略
- ③ 2017年業績予想
- ④ <参考資料>

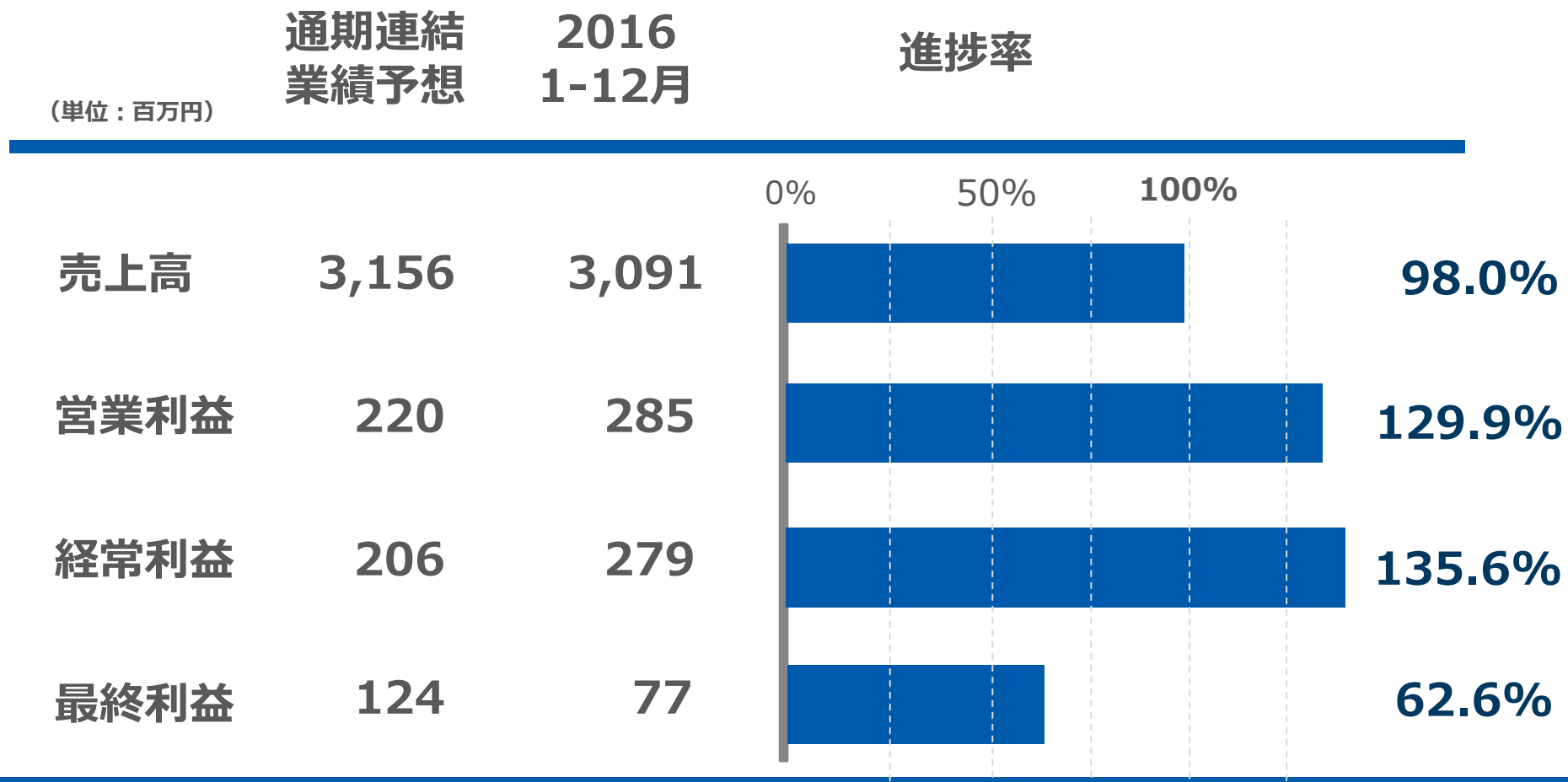
# ① 2016年12月期決算概要

---

- 売上高成長率は14.4%となり、前年同期比390百万円増加
- 営業利益、経常利益は好調に推移したものの、最終利益は▲2.3%となった。

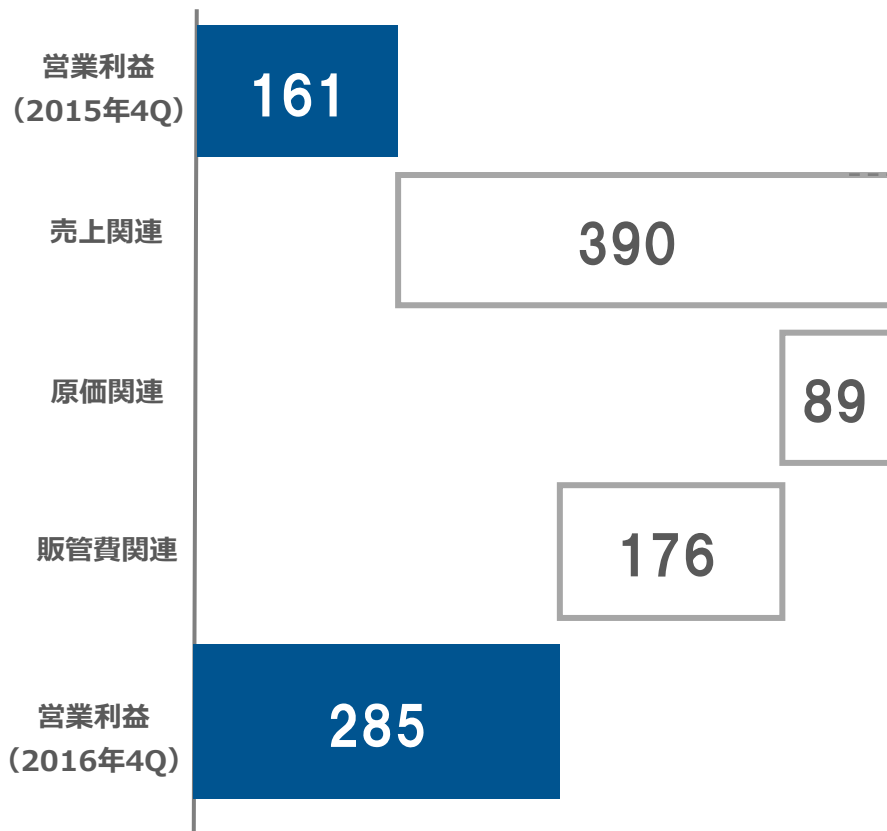
(単位：百万円)	2015 1-12月	2016 1-12月	前年同期比 増減率
売上高	2,701	3,091	+14.4%
営業利益	161	285	+76.7%
経常利益	152	279	+83.2%
最終利益	79	77	-2.3%

- 売上高は目標達成率98%で着地
- 営業利益、経常利益は目標を大きく上回る着地となった
- 最終利益は投資有価証券評価損により、達成率62.6%



■ 売上高の好調により、営業利益は前年同期比129%増の285百万円

(単位：百万円)



<主な増減要因>

・ 売上関連

DIYサービスの好調  
 広告予算消化によるCPATの好調  
 地域別では、日本、EUの好調

・ 原価関連

DIYサービスの比率上昇  
 アジアクラウドパネル利用の促進  
 中国で粗利率の高い案件への絞込み等  
 により原価率が減少

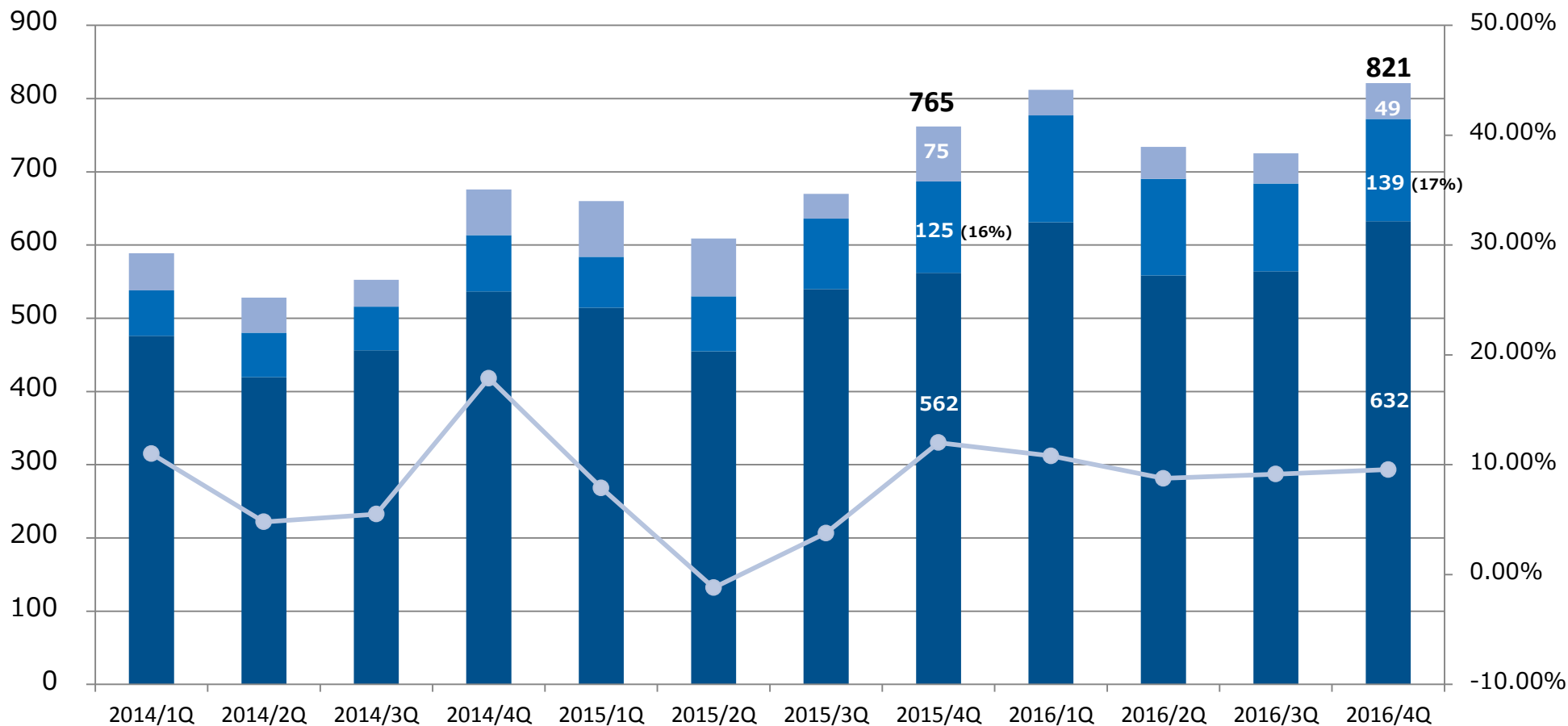
・ 販管費関連

infoQ等の会員向けの広告費、  
 顧客向けマーケティングへの投資、  
 売上好調による販売コストの増加

- アウトソーシングサービスの4Q売上高は、前年同四半期比12%増で632百万円
- D.I.Yサービスの4Q売上高は、前年同四半期比11%増で139百万円  
(全体の17%)

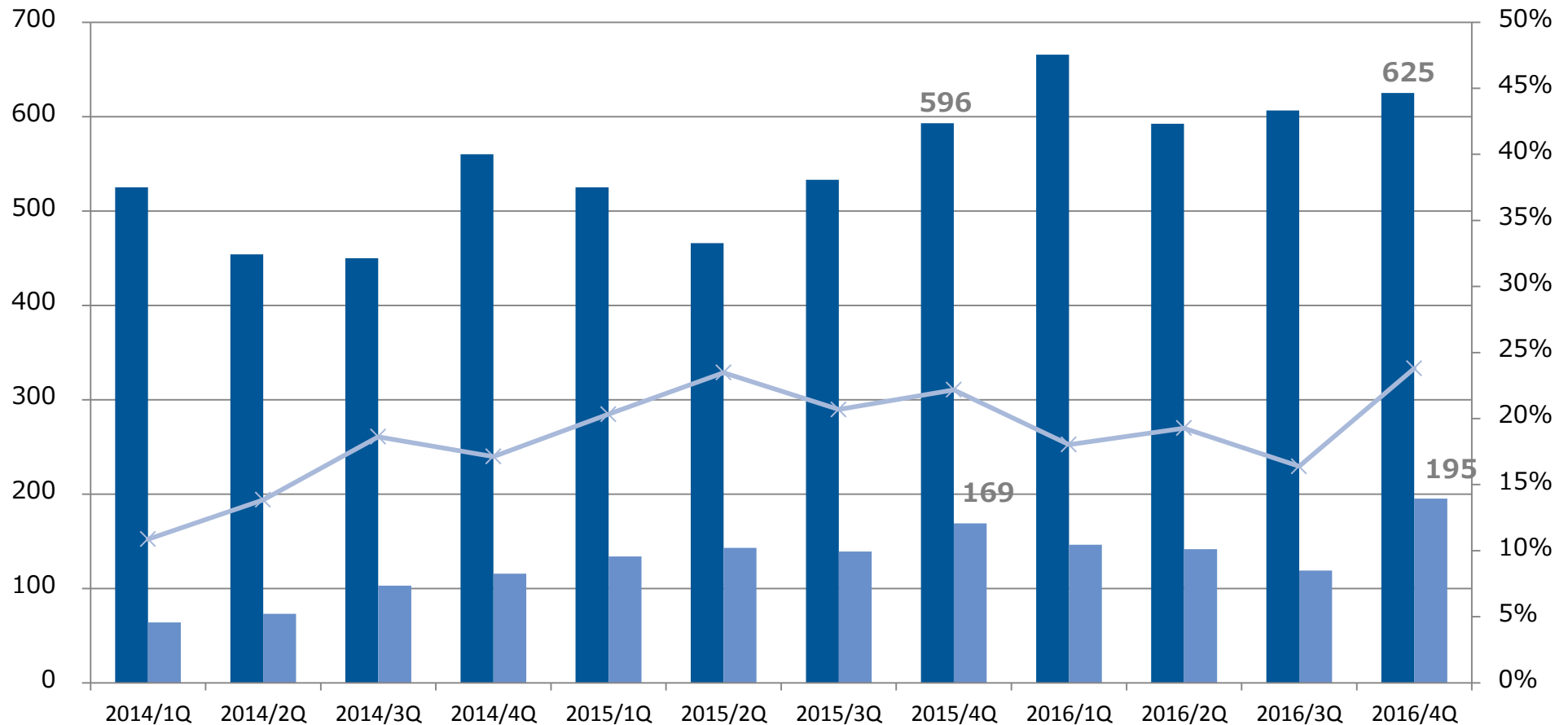
(単位：百万円)

■ Outsourcing ■ D.I.Y service ■ Others ● 営利率



- 国内4Q売上高は、前年同四半期比4.9%増で625百万円
- 海外4Q売上高は、前年同四半期比15%増で195百万円（全体の24%）
- 4Q円安方向の為替の動きにより、海外売上が増加

(単位：百万円)

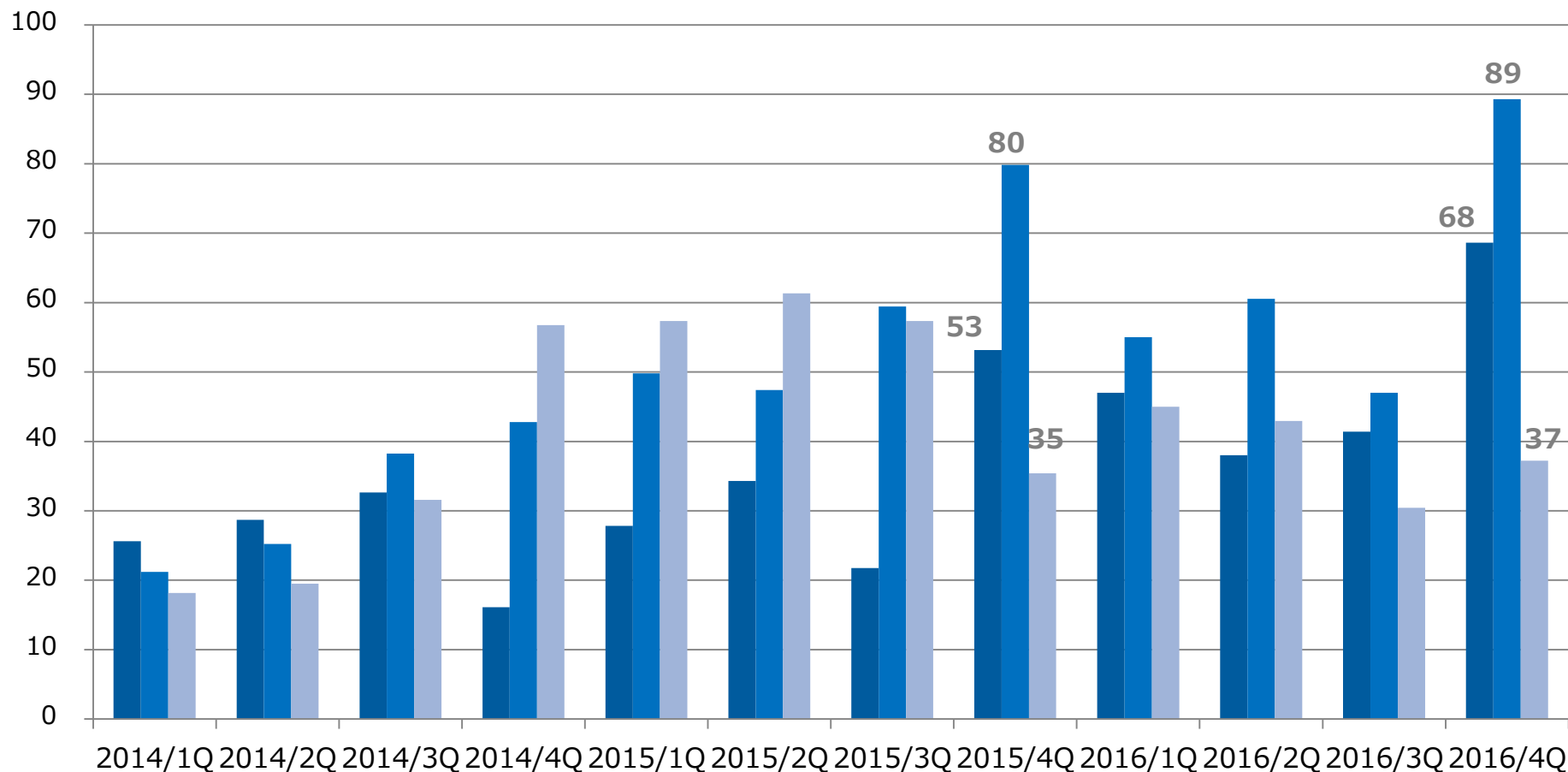
■ 国内売上
 ■ 海外売上
 ✕ 海外比率




- 欧州は前年同四半期比28%増（通期で42%増）
- 北米は同11%増（通期で6%増）
- アジアは同6%増（通期は中国の景気低迷、案件絞込により26%減）

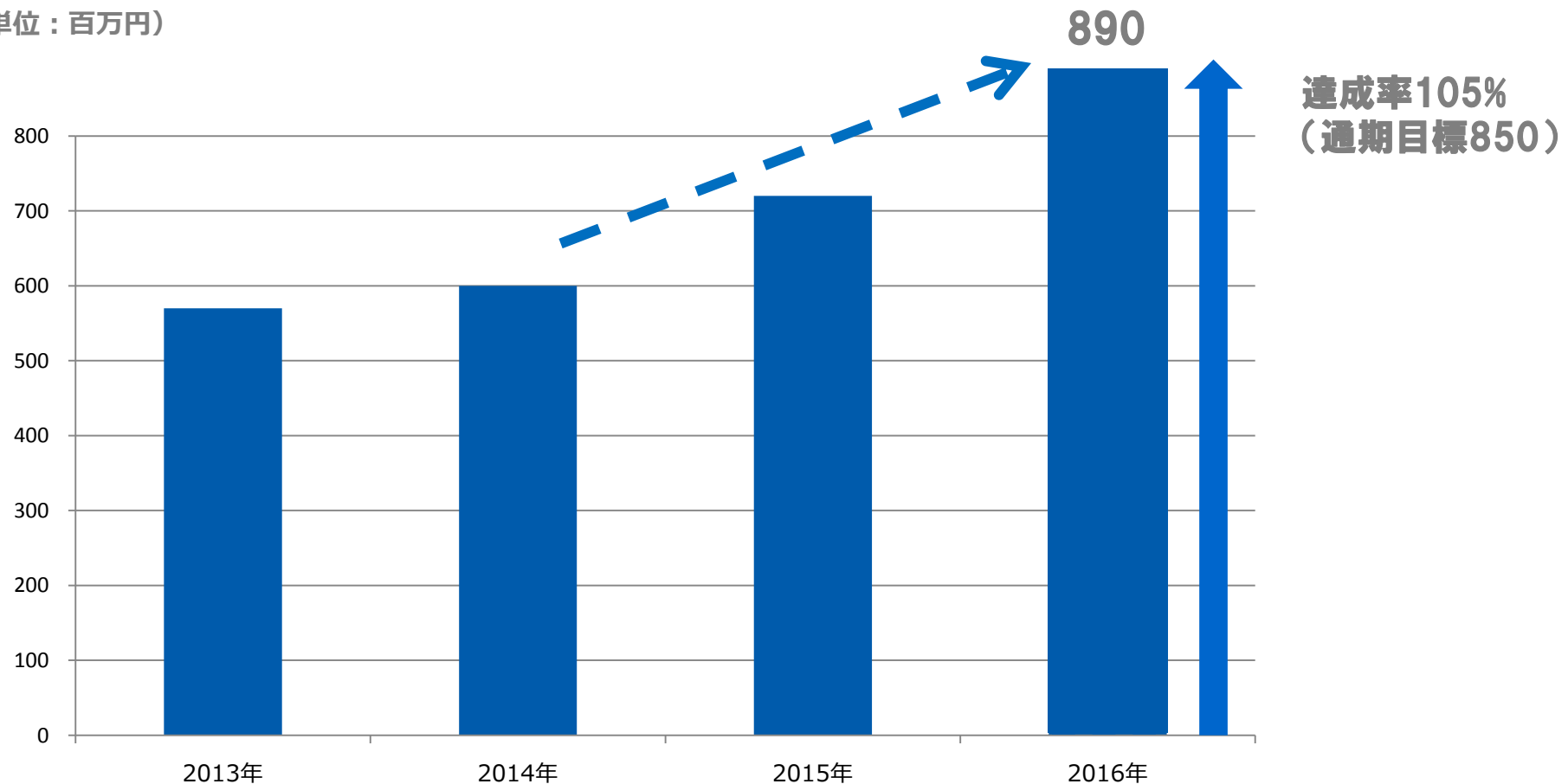
(単位：百万円)

■ 欧州 ■ 北米 ■ アジア



- ポイント発行額がパネル供給変革のKPI
- パネル供給変革の推進により、「ASIA Cloud Panel」内のポイント発行額を拡大し、当社のプラットフォームの更なる強化を図る

(単位：百万円)



- 昨年度に出資したIgnite Vision社(以下IV社)の事業計画が出資時見込みを下回ったことによる投資有価証券評価損92百万円を特別損失に計上

<主な要因>

・ 中国景気低迷の影響を受け、出資当初に見込んでいた事業計画を大きく下回る見込みとなり、実質価額が著しく低下したことにより、投資有価証券評価損を特別損失に計上。

<今後の対応>

当初からの、IV社出資の目的である中国、香港でのCloudPanel拡大におけるパネル購入を行うことで当初約2年での出資金額の回収を想定していたが、こちらは現在1年遅れのペースではあるが、回収は進行中。

IV社業績についても2016年後半以降回復基調にあり、また当社との事業連携が進むことにより、IV社も利益が出る仕組みとなっているため、引き続き事業連携を進める。

2

# 2017年事業戦略

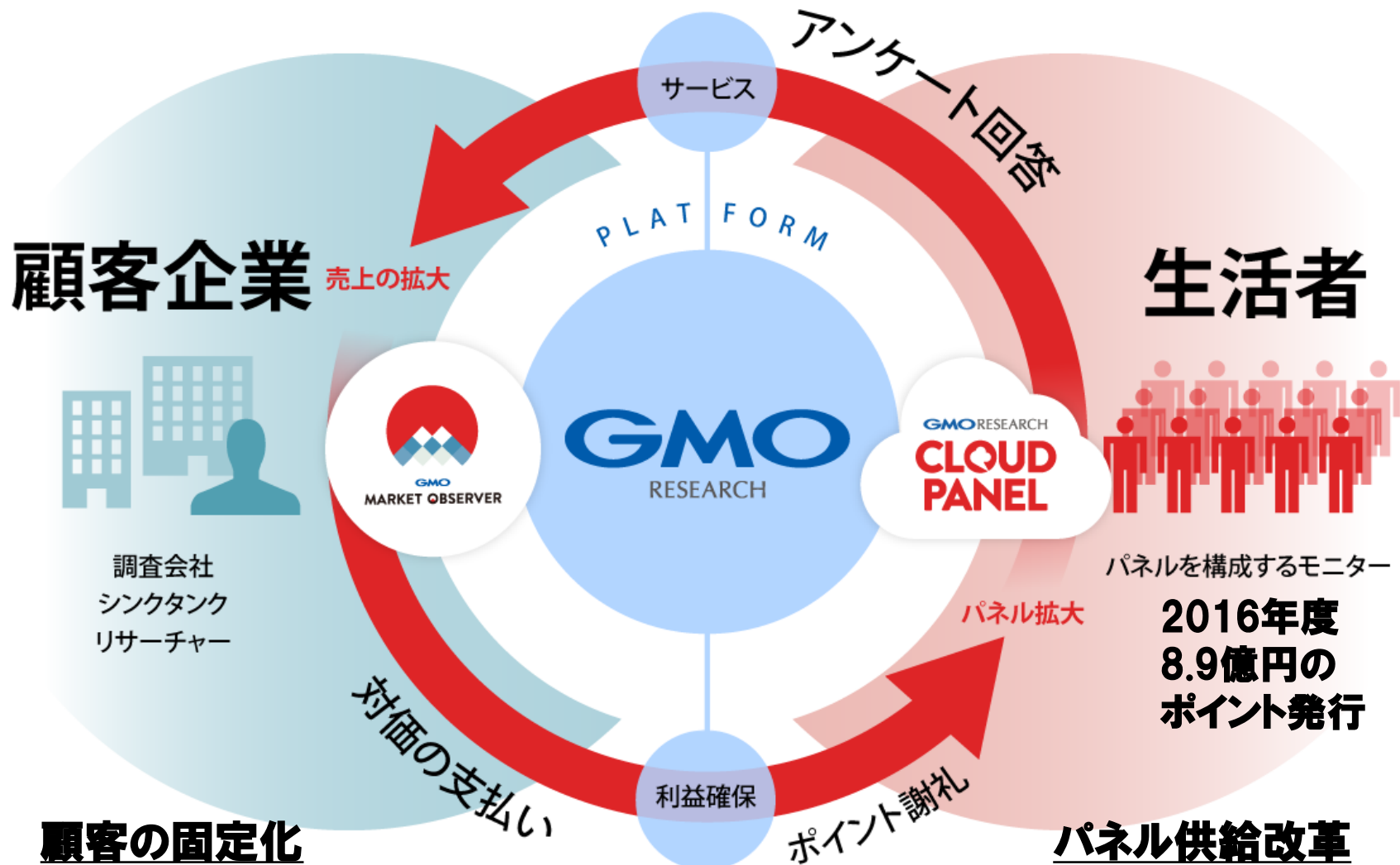
- 新しくフィロソフィーを設定
- 会社のホームページ刷新

## 想いを、世界に GMOリサーチ

生活者一人ひとりの意見や価値観がある。  
より良い人々の暮らしを目指す、企業の情熱がある。  
GMOリサーチは皆のそれらの「想い」を、わくわくするようなテクノロジーで世界に届け、  
人と企業とが響きあう笑顔豊かな社会へと導きます。

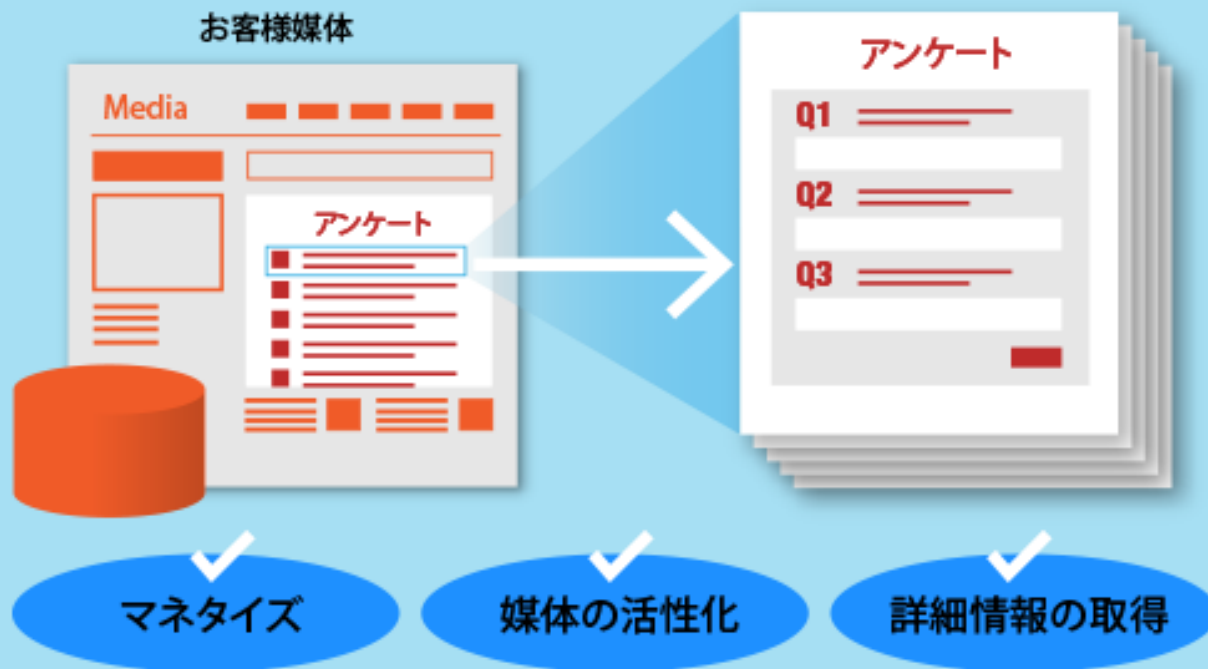
想いを、世界に — GMOリサーチ

- 案件（売上）を拡大するためにもパネルを拡大することがすべてにおいて重要
- そのパネルネットワークを拡大するためには、ポイント発行額の拡大が最も重要な指標



- 自社会員保有企業に対してメンバーシップマーケティングソリューションを提供
- 同時にAsiaCloudPanelに参加頂き、当社のアジアにおけるパネルネットワークを強化
- その結果パネルの供給変革を実現

## メンバーシップマーケティング



- アジア各国の調査パネルを提携によりネットワーク化し、自社（GMOグループ）調査サイト「infoQ」「Z.com Research」を含む、媒体に調査配信が可能。
- アジア13カ国に最大規模（2,100万人超）73媒体のパネルネットワークを構築。

GMO RESEARCH

## ASIA CLOUD PANEL

インフォキュー  
 infoQ  
 by GMO  
<http://infoq.vn/>  
 (GMORUNSYSTEM)

ベトナム  
 310,000

中国  
 6,020,000

インド  
 3,770,000

タイ  
 30,000

インドネシア  
 210,000

シンガポール  
 12,000

Z.com Research  
<https://research.z.com/th/>  
 (NetDesign)


韓国  
 200,000

日本  
 9,400,000

台湾  
 130,000

香港  
 4,000

フィリピン  
 80,000

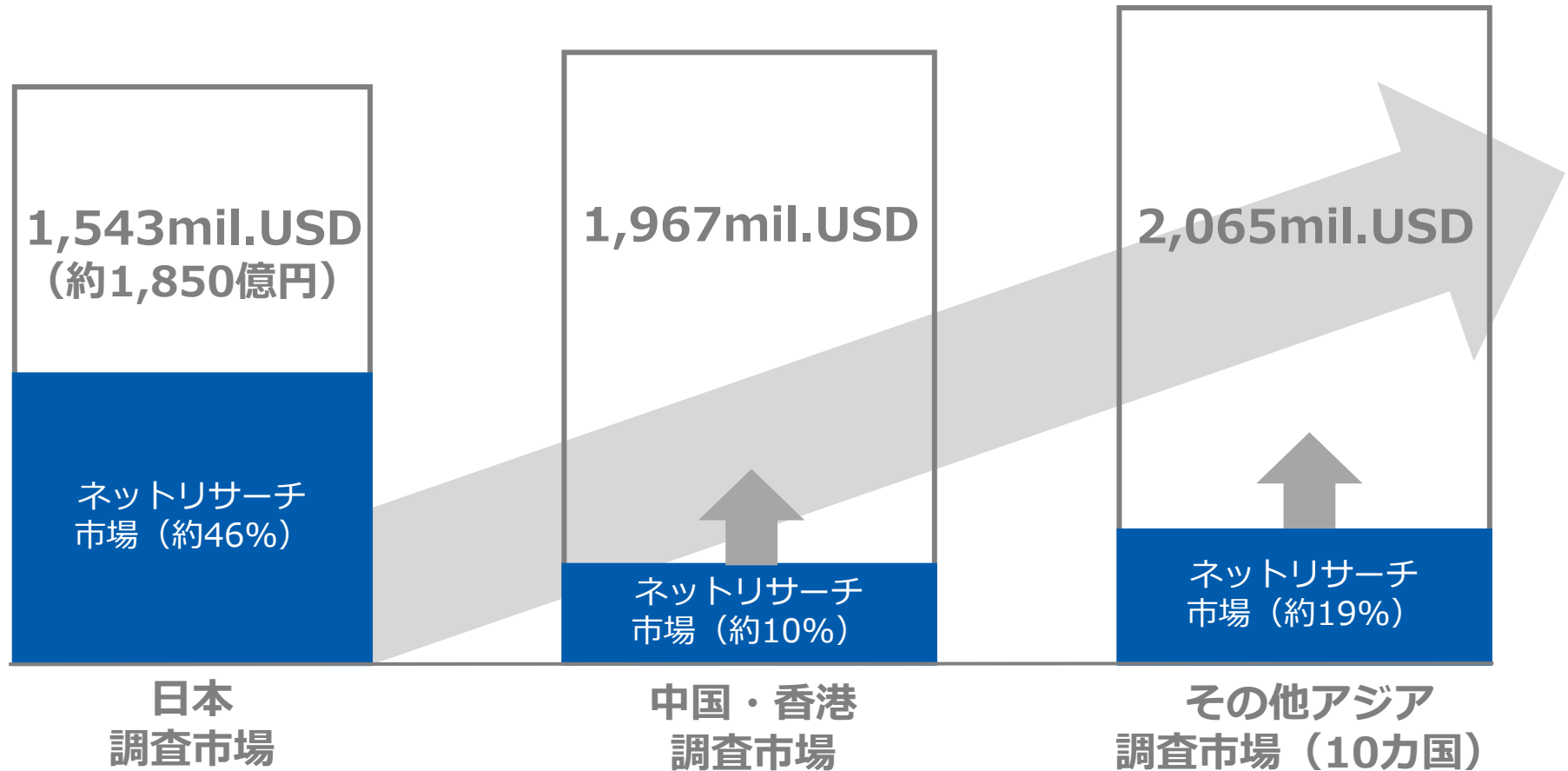
マレーシア  
 970,000

オーストラリア  
 60,000

インフォキュー  
 infoQ  
 by GMO  
<http://infoq.jp/>



■ アジア地域のインターネットリサーチ市場は今後さらに拡大すると予想



2016年ESOMAR、  
中国マーケティングリサーチ協会調べ  
為替を2016年時点の120円で計算

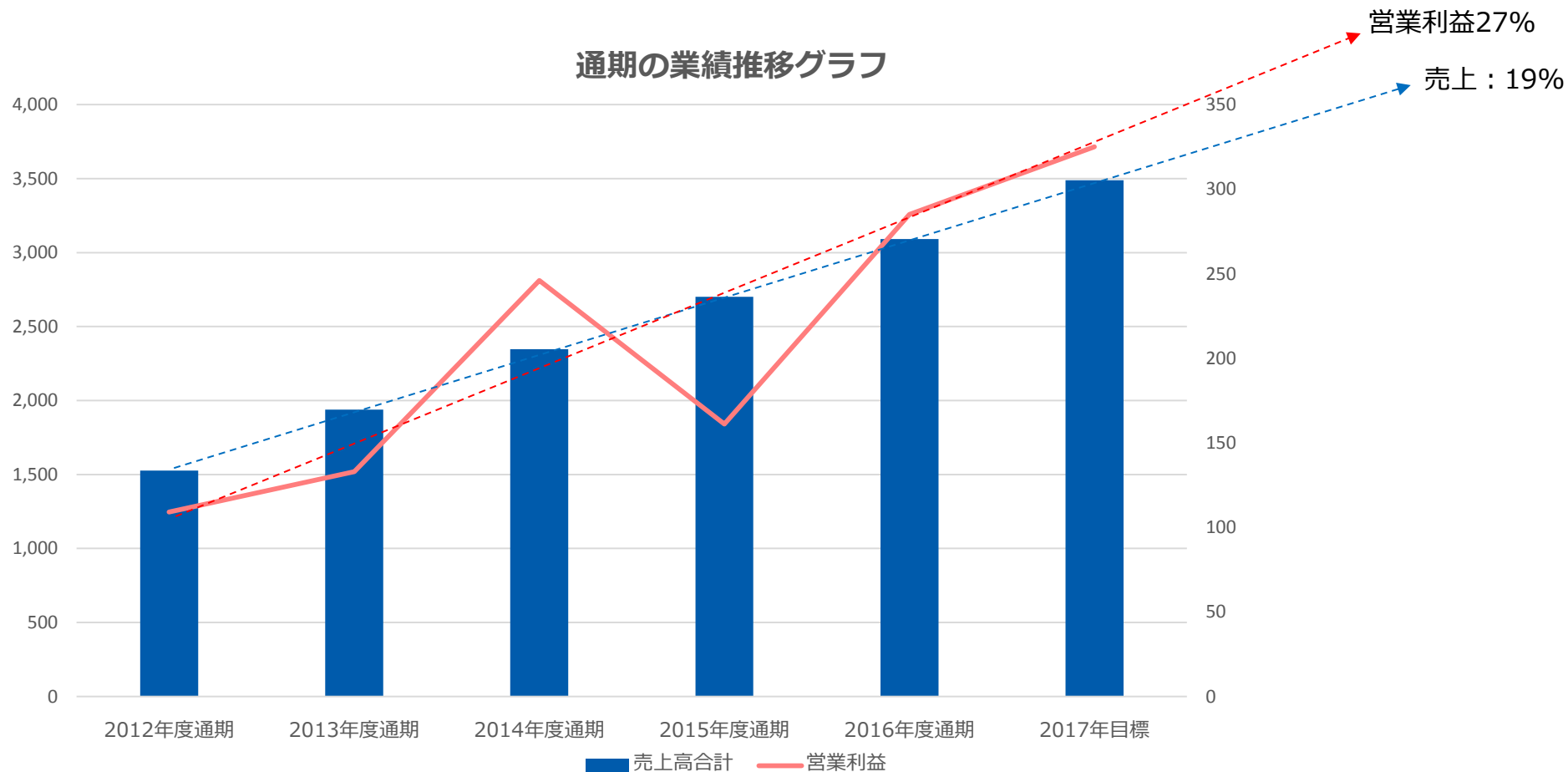
## ③ 2017年業績予想

- 継続して売上は約13%の成長を維持（売上も過去最高を更新予定）
- 営業利益については利益率を更に改善し3.25億円を目標とする。

	2015年度		2016年度		2017年度		前期比増減	
	実績	(%)	実績	(%)	予想	(%)	増減	増減率 (%)
売上高	2,701	100.0	3,091	100.0	3,490	100.0	399	12.9
営業利益	161	6.0	285	9.2	325	9.3	40	13.7
経常利益	152	5.6	279	9.0	305	8.7	26	9.2
当期純利益	79	2.9	77	2.5	181	5.2	104	133.2

■ 過去4年間の平均成長率（CAGR）は  
 売上：19%、営業利益：27%、継続的な成長

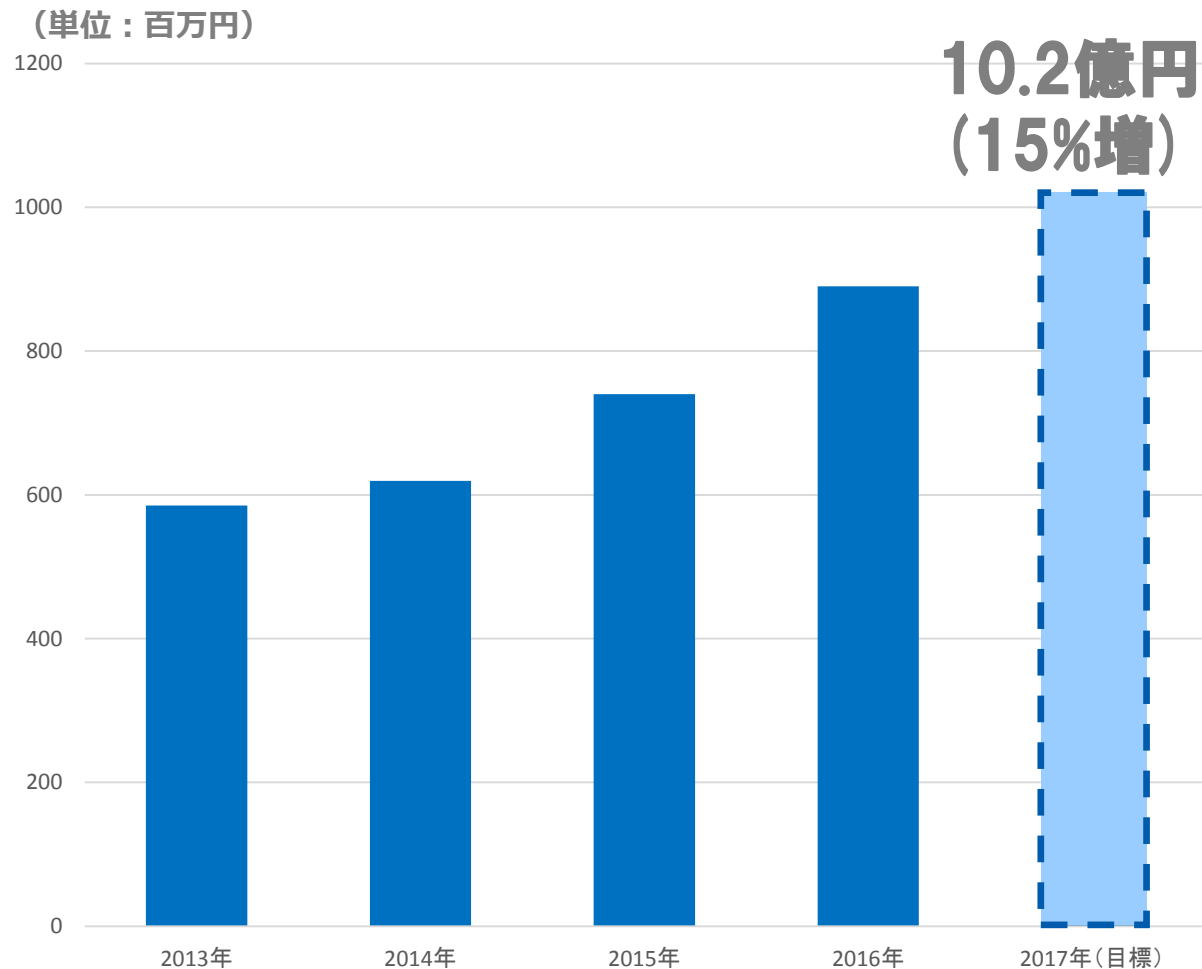
通期の業績推移グラフ



- 2017年度は、配当は過去最高の54.70円を目標とする。
- 2016年度の配当予想については業績に連動した配当（配当性向50%）を目標とする配当の基本方針により、2016年度最終利益に基づき、平成28年2月4日発表予想の37.60円から23.50円へ修正。

	2015年度	2016年度	2017年度
	実績	(計画)	(計画)
1株当たり年間配当金 (円)	22.00	23.50	54.70
総配当性向 (%)	45.4	50.1	50.0%
1株当たり当期純利益 (円)	48.42	46.93	109.38

- ポイント発行額がパネル供給変革のKPI
- パネル供給変革の推進により、「ASIA Cloud Panel」内のポイント発行額を拡大し、当社のプラットフォームの更なる強化を図る



## 4

## <参考資料>

- 連結貸借対照表
- 連結キャッシュフロー計算書
- サービス別販売先・サービス内容説明表
- アウトソーシングサービスとDIYサービス
- 各拠点人員数推移

## ■ 連結貸借対照表

(単位：百万円)	2015年末	2016年末	前期比増減率
流動資産	1,224	1,627	32.9%
（現預金）	555	479	△13.8%
固定資産	525	344	△34.4%
資産合計	1,750	1,971	12.6%
流動負債	619	803	29.6%
固定負債	16	18	15.2%
負債合計	636	822	29.3%
純資産	1,114	1,149	3.2%



## ■ 連結キャッシュフロー計算書

(単位：百万円)	2015年度	2016年度	前期比増減額
営業キャッシュフロー	216	369	152
投資キャッシュフロー	△269	△48	221
財務キャッシュフロー	△67	△49	18
現金及び現金同等物の増減	△124	273	397
現金及び現金同等物の期首残高	680	555	△124
現金及び現金同等物の期末残高	555	829	273

サービスの名称		販売先	サービスの内容
アウトソーシングサービス	Full Service	調査会社/ 広告代理店/ コンサルティング企業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オンラインでのアンケート画面作成・アンケート案内配信・アンケートデータの回収・クリーニング、集計といった一連の工程を一貫して提供します。</li> <li>・アドテクのプラットフォームと連携した広告業界向けサービスを提供します。(CPAT)</li> </ul>
	Sample Supply		<ul style="list-style-type: none"> <li>・顧客が自社内でオンラインでアンケート画面を作成している場合に、当社が回収管理を行い、顧客のアンケート画面に回答結果を提供します。</li> </ul>
D.I.Yサービス	Self Sample Supply (SSS)	調査会社/ 広告代理店/ コンサルティング企業	インターネットリサーチにおいて、当社がサービスインフラとパネルのみを提供します。
	システム関連売上		GMO Market Observerを顧客のリサーチプラットフォームとして提供します。
その他サービス	New MR/ コンベンショナル調査	一般企業	<p>New MRとは、アイトラッキング調査、MROC、Scanamind（スキャナマインド*）、コミュニティといった最先端のマーケティングリサーチソリューションを提供するサービスで新たなプラットフォーム提供のための研究開発の役割を担っています。また、コンベンショナル調査は、オフライン（現場）で実施する調査手法でありオンライン業務の更なる自動化のため戦略的に取り組んでおります。</p>

\*Scanamindは、株式会社クリエイティブ・ブレインズの登録商標です（登録番号第5109952号）

		アウトソーシングサービス		DIYサービス	
サービス名称		Full Service	Sample Supply	Self Sample Supply	システム関連 売上
業務工程	1. 調査設計	顧客	顧客	顧客	顧客 (注)
	2. 調査画面 作成	GMO Research	顧客	顧客	
	3. プロジェクト マネジメント	GMO Research	GMO Research	顧客	
	4. パネル管理	GMO Research	GMO Research	GMO Research	
	5. Cloud Panel 利用	GMO Research	GMO Research	GMO Research	

(注) お客様の中には、当社のCloud Panelをご利用にならない場合もあります。

## 各拠点における正社員数の推移

(単位：人)

	日本	シンガポール	インド	中国	正社員合計
拠点機能	本社 ・国内欧米営業、 PJ管理 ・国内パネル管理 ・システム開発	・東南アジア営業 ・東南アジアパネル管理	欧米、東南アジア PJ管理、営業補助	・営業 ・PJ管理 ・中国パネル管理	
2014年7月1日時点	77	1	9	5	92
2015年1月1日時点	82	2	11	5	100
2015年7月1日時点	90	2	12	8	112
2016年1月1日時点	85	1	13	9	108
2016年7月1日時点	87	2	15	9	113
2017年1月1日時点	87	2	15	9	113
半期人員増減数	0	0	0	0	0
補足	—	—	—	—	—

想いを、世界に GMOリサーチ

**本日はありがとうございました。**

本資料、および本説明会における質疑応答などにおける市場予測や業績見通しなどの内容は、現時点で入手可能な情報に基づき、当社が判断したものであります。

従いまして、これらの内容はリスクや不確実性を含んでおり、将来における実際の業績は、様々な影響によって大きく異なる結果となりうることを、あらかじめご承知おきください。